

第29回 ハートケアネットワーク懇話会

■ ■ 日 時 2017年 6月15日(木) 19:20~21:00

■ ■ 会 場 二子玉川 エクセルホテル東急

住所：東京都世田谷区玉川1-14-1 Tel :03-3700-1093

19:20-19:30 【製品紹介】 PCSK9抗体製剤「レパーサ皮下注140mg」 アステラス製薬株式会社

Opening Remarks 聖マリアンナ医科大学 心臓血管外科 大野 真 先生

19:30-20:20 第一部 症例紹介 ※サマリーは裏面をご参照ください。

【座長】 つちや内科・循環器内科 院長 土屋 勝彦 先生

症例1 「心臓サルコイドーシスの診断と最新治療」 循環器内科 中島育太郎 先生

症例2 「高齢者心不全の特徴と治療について」 循環器内科 黄世捷 先生

症例3 「下肢閉塞性動脈硬化症に対するカテーテル治療」 循環器内科 茶谷健一 先生

症例4 「オープンステングラフト併用下の
上行弓部人工血管置換術+冠動脈バイパス術」 心臓血管外科 千葉清 先生

症例5 「再生医療が著効した下肢虚血症例」 心臓血管外科 永田徳一郎 先生

20:20-21:00 第二部 日常に役立つレクチャー

【座長】 さかい医院 院長 堺 浩之 先生

『 積極的資質低下療法の意義と最新知見
～LDL-Cの低下は心血管イベントの再発を抑制できるのか？～ 』

【演者】 東海大学医学部内科学系 循環器内科
教授・診療科長 伊莉 裕二 先生

Closing Remarks みねき内科クリニック 院長 峯木 仁志 先生

* 会終了後、懇親会をご用意しております。

* 当講演会は日本医師会生涯教育カリキュラム(12:地域医療 0.5単位、75:脂質異常症 1単位)を取得予定です

* ご参加に伴う、弊社による先生ご自身の旅費を実費負担させていただきます。

つきましてはご所属の規定にいたしますので、手続きに必要な書類等がございましたらご指示ください。

共催：聖マリアンナ医科大学 アステラス製薬株式会社

提示症例

症例1 心臓サルコイドーシスの診断と最新治療		演者;循環器内科 中島育太郎
紹介理由	新規左脚ブロック精査加療	69歳女性。頭重感を伴う高血圧にて北部市場クリニックを受診し、新規左脚ブロック(CLBBB)を指摘され当院紹介。心エコーでは左室駆出率(LVEF) 40%のびまん性壁運動低下とCPXでの運動耐容能低下を認めた。冠動脈疾患除外後、施行したPET検査にて心臓サルコイドーシスの診断。心臓サルコイドーシスを背景とするLVEF低下を伴うCLBBB症例に対して心臓再同期療法を施行した。
診断	心臓サルコイドーシス	

症例2 高齢者心不全の特徴と治療について		演者;循環器内科 黄世捷
紹介理由	うっ血性心不全精査加療	81歳男性。糖尿病、COPD、慢性心房細動のため向ヶ丘久保内科通院中。一週間前からの下腿浮腫と起坐呼吸と心拡大、胸水貯留にて当科紹介。心エコー検査で心房細動による僧帽弁逆流と大動脈弁逆流を認めたため、外来で心不全治療後に、原因精査のため、入院となった。
診断	左室駆出率が保たれた慢性心不全の増悪	

症例3 下肢閉塞性動脈硬化症に対するカテーテル治療		演者;循環器内科 茶谷健一
紹介理由	間欠性跛行精査加療	69歳男性。高血圧のため、内田医院に通院中。約1年前より右下肢の間欠性跛行を自覚しており、右下肢ABI:0.66と低値を認め、当科へ紹介受診となる。下肢造影を施行し、右外腸骨動脈の狭窄、右浅大腿動脈の閉塞所見を認めた。カテーテル治療を施行し、右外腸骨動脈および右浅大腿動脈に対してステント留置し、間欠性跛行症状は消失した。
診断	下肢閉塞性動脈硬化症	

症例4 オープンステングラフト併用下の上行弓部人工血管置換術+冠動脈バイパス術		演者;心臓血管外科 千葉 清
紹介理由	胸背部痛精査加療	81歳男性。胸背部痛にて入院精査の結果、遠位弓部動脈瘤嚢状瘤の診断。冠動脈2枝病変、shaggy aortaもあり、オープンステングラフト併用下の上行弓部人工血管置換術+冠動脈バイパス術(大伏在静脈—前下行枝、回旋枝)施行。術後合併症なく退院。文献的考察を踏まえ報告する。
診断	大動脈瘤	

症例5 再生医療が著効した下肢虚血症例		演者;心臓血管外科 永田徳一郎
診断	重症虚血肢	73歳女性。既存の治療では改善が認められず大腿部切断を余儀なくされていた、強皮症の血管炎に伴う難治性下肢虚血の患者。当院初の、脂肪組織由来の幹細胞を用いた再生医療が著効し、改善傾向を認めている。その患者経過今後の再生医療の展望について報告する。